

2026年度事業計画

<公益財団法人電通育英会の事業目的の確認(定款第3条より)>

この法人は、優秀でありながら経済的理由により修学が困難な、日本国内で学ぶ大学生・大学院生に対する奨学金の給付を行うとともに、育英に関する調査研究・情報提供および大学生等の人材育成活動に対する助成事業を行い、もって社会を牽引する人材を育成することを目的とする。

<2026年度事業計画について>

重点施策

- ・奨学生採用数、奨学金給付額は現状水準を維持。
- ・奨学生交流支援制度の強化(コミュニティ新体制の構築、施策強化)
- ・奨学事業を支える新奨学生データベースの改修
- ・助成事業の助成スキームの継続的向上

1-1 大学生への奨学金給付事業 <公益事業1>

(1)大学生への奨学金給付(高校時予約採用)

2026年度の大学進学予定者の募集・選考の結果、採用内定者とした105名、及び前年度に内定している一浪生12名を合わせた117名の内定者のうち、2026年4月に当財団指定の大学に入学した者に対し、2026年度採用者として奨学金の給付を開始する。

2026年度は、110名の採用を計画したが、105名程度の採用数の着地を想定。

物価上昇等の状況に対応して2025年度から奨学金給付月額を7万円から8万円へ増額している。

<大学奨学生の採用推移> *2026年度採用(1年生)は想定人数。

	一般枠
2023年度採用(4年生)	101名
2024年度採用(3年生)	85名
2025年度採用(2年生)	96名
2026年度採用(1年生)	105名*
2023~2026年度の採用数合計	387名

★大学生 奨学金(入学一時金30万円・受験等助成金10万円を含む)

2025年度予算	2025年度実績見込	2026年度予算
4億1,690万円	3億9,356万円	4億1,302万円

<2026年度予算増加要因>:震災枠等により採用増を見込むため。

(2)大学奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付

奨学生が広い視野を持ち、グローバルに活躍できる人材として成長する一助となることを目的として2014年度に「海外留学・活動支援制度」を開始。2023年度から円安状況による留学費用増を背景として支援額を拡充した。

★大学生 海外留学・活動支援金

2025年度予算	2025年度実績見込	2026年度予算
2,300万円	1,621万円	1,900万円

<2026年度予算増加要因>:コロナ禍後の海外活動の活性化、奨学生数増による人員増のため。

1-2 大学院生への奨学金給付事業 <公益事業1>

(1)大学院生への奨学金給付

電通育英会大学奨学生に対して2026年度の大学院進学予定者の募集を2025年2月に行い、奨学生選考委員による書類選考および面接選考の結果、2026年度の大学院奨学生には40名の応募があり、内40名が奨学生選考委員による書類選考および5月にオンラインによる面接選考を経て内定となった。3名が不合格、1名が就職、2名未受験により辞退したため、2026年度進学の内定者は33名(文系8名・理系25名、男性21名・女性12名)となる。2025年度44名に加えて、大学院奨学生は最大77名となる。

また、2027年4月大学院進学希望者の募集・選考作業は、下記のとおり実施する。

- ①給付対象: ・当財団の大学奨学生で、書類提出やセミナー参加などの奨学生の義務を果たしていること
・キャリア形成上、修士課程への進学に必然性が認められる者
・成績優秀で、かつ学費の援助が必要と認められる者
- ②採用者数: 40名程度
- ③給付金額: 月額10万円(最長2年間給付)
- ④選考方法: 大学3年生、大学2年生(早期進学)対象に2026年1月に募集
5月奨学生選考委員による書類選考と面接選考、6月に理事長が内定決定。
2027年4月に当財団指定の大学院に進学した者を奨学生として採用。

★大学院生 奨学金

2025年度予算	2025年度実績見込	2026年度予算
8,880万円	8,340万円	9,600万円

<2026年度予算増加要因>:奨学生の増加及び給付金額増。

(2)大学院奨学生を対象とした「海外留学・活動支援金」の給付

奨学生が広い視野を持ち、将来、グローバルに活躍できる人材として成長する一助となることを目的に、2014年度に「海外留学・活動支援制度」を開始。2023年度から円安状況による留学費用増を背景として支援額を拡充した。

★大学院生 海外留学・活動支援金

2025年度予算	2025年度実績見込	2026年度予算
800万円	449万円	700万円

<2026年度予算増加要因>:制度利用の増を見込む。

<参考> 今後3年間の奨学生数の計画

	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
大学奨学生	380名	387名	386名	401名
大学院奨学生	74名	77名	73名	80名
合計	454名	464名	459名	481名

2. 奨学生対象のセミナー等の実施 <公益事業1>

(1) 奨学生全員に対する「奨学生の集い」の実施

2027年度も引き続き東京ドームホテルにて11月に実施する。

- ・参加者：現役奨学生全員、OBOGの参加希望者、大学関係来賓、電通育英会役員、奨学生選考委員
- ・講演：未定
- ・開催日：2026年11月15日(日)
- ・会場：東京ドームホテル

★「奨学生の集い」関連費 *奨学生の交通費含む

2025年度予算	2025年度実績見込	2026年度予算
2,253万円	1,881万円	2,070万円

<2026年度予算増加要因>：奨学生増加に伴う参加者増加による会場費・運営費の増加。

(2) 大学1年生セミナーの実施

大学1年生セミナーは、過去3年間の評価から9月に2泊3日の合宿形態を継続して実施する。コミュニケーション・スキルやアイデア発想力の育成などをテーマとして、グループ討議、プレゼン演習並びに奨学生同士の交流・懇親を図り、次世代人材を育成する一助とする。カリキュラムについては、次世代リーダーシップ人材育成の観点から検討を行う。

- ・テーマ：コミュニケーション研修
- ・講師：電通コピーライター 勝浦雅彦氏、電通アイデア創発ユニット ハツデンメンバー若干名
- ・開催日：2026年9月5日(土)～7日(月)
- ・会場：L stay&grow 南砂町(東京都江東区)

★「大学1年生セミナー」関連費 *奨学生の交通費含む

2025年度予算	2025年度実績見込	2026年度予算
1,040万円	935万円	970万円

<2026年度予算変動要因>：参加者増の見込み。

(3) 大学2年生セミナーの実施

大学2年生セミナーは本年度は6月に1泊2日の合宿形態で実施する。奨学生にとってこれからの武器となる個性を使ったアイデア発想力を培うセミナーであり、奨学生同士の交流・懇親を図るためのグループ作業や懇親会を行っていく。

- ・テーマ：アイデア発想力養成研修
- ・講師：Creative Project Base 倉成英俊、電通Bチーム講師 若干名
- ・開催日：2026年6月20日(土)～21日(日)
- ・会場：L stay&grow 南砂町(東京都江東区)

★「大学2年生セミナー」関連費 *奨学生の交通費含む

2025年度予算	2025年度実績見込	2026年度予算
698万円	615万円	701万円

<2026年度予算変動要因>:参加者増の見込み。

(4)大学3年生セミナーの実施

次世代リーダーの人材育成支援として、大学3年生に対しては自らのキャリアデザインに関するセミナーを、就活時期に合わせて5月に1泊2日の合宿形態で実施する。活躍する社会人と接する機会を設けるべく電通育英会OBOGに参加いただく。

- ・テーマ : 自己分析とキャリアデザイン研修
- ・講師 : WiLL Institute 熊谷智宏、田中杏奈
- ・開催日 : 2026年5月30日(土)~31日(日)
- ・会場 : L stay&grow 南砂町(東京都江東区)

★「大学3年生セミナー」関連費 *奨学生の交通費含む

2025年度予算	2025年度実績見込	2026年度予算
794万円	681万円	655万円

<2026年度予算変動要因>:参加者は微減の見込み。

(5)大学院生セミナーの実施

大学院生に対しては各々の専門性を活かしながら様々なセクターで「社会課題」に向き合い協働できる次世代リーダーとして活躍していくための、問題発見やビジョン創造、アイデア創出などに関わるテーマでのワークショップを検討している。

- ・テーマ : 未定
- ・講師 : 未定
- ・開催日 : 2026年10月24日(土)~25日(日)
- ・会場 : L stay&grow 南砂町(東京都江東区)

★「大学院生セミナー」関連費 *奨学生の交通費含む

2025年度予算	2025年度実績見込	2026年度予算
697万円	521万円	635万円

<2026年度予算増加要因>:奨学生増加に伴う増加。

(6)修了生交流会

2027年3月に卒業・修了予定の大学・大学院奨学生を対象として東京会場にて実施する。

卒業・修了後の各界での活躍を期待して、当財団の選考委員とともに電通育英会OBOGも参加し、電通育英会ネットワークによる以後の交流を図る。

- ・参加者:卒業・修了予定の奨学生、OBOGの参加希望者、奨学生選考委員
- ・開催日:2027年3月中旬
- ・会場:帝国ホテル(予定)

★「修了生交流会」関連費 *修了生の交通費含む

2025年度予算	2025年度実績見込	2026年度予算
1,005万円	713万円	827万円

<2026年度予算増加要因>:参加者増、OBOG参加者増の見込み。

(7)「奨学生交流支援制度」導入 ～ コミュニティ新体制の構築

《2025年9月まで》

電通育英会の奨学生(OBOG希望者)限定サイトとして「&iコミュニティスペース」を2021年に公開し、奨学生有志による「コミュニティー・リーダー(CL)」常時7名～10名が活動していた。CLは、奨学生同士の情報発信や交流促進のためのオリジナル企画の発案・実施運営とともに、新奨学生オリエンテーション/各学年奨学生セミナー/奨学生の集い等での「&i」紹介や交流会促進のための企画・進行、さらにはオンライン後夜祭を担っていた。

2025年度は「&i」における奨学生間の交流促進を図る各種企画の実施運営とともに、2025年3月に「OBOG近況報告集」を「&i」で公開することを機に、奨学生とOBOGとの交流の活性化に取り組んだ。

《2025年10月～3月》

「奨学生交流支援制度」を導入。奨学生同士の交流活動の促進を目的として、コミュニティの新体制を構築した。具体的には下記。

- ・当財団が主体で運営する体制を整えた。以前:管理者1名 ⇒ 主担当1名+担当3名体制へ。また、運営委託先も競合コンペで新たに選定した。
- ・プラットフォームを「コミュニティスペース &i」からコミュニティ領域で評価の高い「OSIRO」に変更した
- ・コミュニティーリーダー(2025年9月時点 11名)から、より自由度高く参加できるよう役割を変更。名称もコミュニティークルーに改称し新規募集を行った。19名の応募があり全員採用した。

《2026年4月～》

OSIRO上で、オンラインのイベント、部屋、ブログなどにより交流を活性化させるとともに、これまでの全国一斉の学年別セミナーなどを補完する形で、エリア別のリアルイベントなども増やし、リアルとオンラインを連動させながら、交流、仲間づくり、学び合い、助け合い、協創をより一層進める。

★&iコミュニティスペース関連費

2025年度予算	2025年度実績見込	2026年度予算
530万円	1170万円	2200万円

<2025年度実績、2026年度予算増加要因>:「奨学生交流支援制度」導入に伴う増加。

3. 大学奨学生応募WEBシステムの改修と旧返還用システムの新奨学生データベースへの移管<公益事業1>

旧奨学金管理システムの老朽化により、セキュリティリスクの観点から、2023年度、全面的な改修を行い、奨学金を管理するためのシステムから奨学生一人一人の顔の見える奨学生の人材データベースを構築し、現在活用をしている。

本年度は大学奨学生応募のWEB応募システムでの学校側の入力応募をデジタル化する。

また、貸与奨学金の返還については旧奨学金管理システムが本年12月でサポート終了となるため、返還業務に必要な管理システムを新奨学生DBに移管する。

奨学金管理システムリニューアル設備投資予算

2025年度予算	2025年度改修費実績見込	2026年度予算
1,000万円	0万円	1,100万円

<2026年度予算変動要因>:25年度は大きな改修を行わず、26年度にWEB応募システムのリニューアルと貸与奨学金返還管理について新奨学生DBへの移管を行う。

4. 大学教育における人材育成に役立つ調査データ・情報の提供 <公益事業1>

(1) 会報誌「IKUEI NEWS」の発行(年3回)

奨学生や高等教育関係者への有益な情報提供を目的に、会報誌「IKUEI NEWS」を年3回発行(2026年度は夏季の業務集中回避などのため10月号は発行せず)。奨学生(OBOG含む)、大学関係(学長・広報)、対象高校に加え、全国の図書館、新聞社、教育研究機関等に向けて各号約4,500部を配布。

2022年より奨学生7名がメディアクルー(MC)として、各号の取材やコメントに協力しており、取材現場を含め奨学生の良い学びの場となっている。2026年は、加えてMC経験者4名をアルムナイとして協力いただく。

2026年度は「キャリア ~ 私らしさを探して」を年間テーマに各号の特集は以下のとおり。

	発行月	特集テーマ
Vol.114	2026年4月	私らしさを探して① 研究を究めた先に
Vol.115	2026年8月	私らしさを探して② 公共性を重視する
Vol.116	2027年1月	私らしさを探して③ 新たなビジネスを生み出す

★会報誌関連費

2025年度予算	2025年度実績見込	2026年度予算
4,200万円	3,935万円	3,385万円

<2026年度予算変動要因> 発行回数減(4回→3回)による制作費、印刷費減

(2) 調査研究

2026年度は、以下2件の調査研究を実施する予定。

- 1 桐蔭学園(桐蔭学園 理事長/桐蔭横浜大学 教授 溝上慎一氏)と共同で実施するトランジションに関する調査研究

「主に高校生・大学生・若年成人(主に初期キャリア期の20代社会人)を対象とした学校から仕事・社会へのトランジション(移行)に関する調査研究」

共同研究者 登本洋子准教授(東京学芸大学)/高澤良輔教諭(芝浦工業大学柏中学高等学校)/古賀友樹特任助教(桐蔭横浜大学)他

- 2 立教大学(経営学部 中原淳研究室 教授 中原淳氏)と共同で実施するトランジションに関する調査研究

「学校から仕事・社会へのトランジションに関する研究推進の一環として若年労働者の初期キャリア形成に関する研究」

共同研究者 畑野快准教授(大阪公立大学)/田中聡准教授(立教大学)/池田めぐみ助教(筑波大学)/塩川太嘉朗後期博士課程(立教大学)/伊勢坊綾特命講師(昭和女子大学)他

★調査関連費

2025年度予算	2025年度実績見込	2026年度予算
2,020万円	1,814万円	1,187万円

<2026年度予算変動要因> :2025年度は3年に一度の「大学生キャリア意識調査」を実施。

(3) 「リーダー育英塾」

「高大社連携を意識したトランジション教育改革」を教育界で推進していく「次世代リーダー」の育成を目的に、2018年から「リーダー育英塾」を開始。第1期生(2018年)から第7期生(2025年)まで260

名*のOBOGを輩出。*第3期生(2021年)42名はオンライン開催
2026年度は第8期リーダー育英塾の開催とともに、アルムナイ(OBOG)活動を推進するためのセッションを並行して開催する。

<第8期リーダー育英塾>

- ・日程/2026年8月7日(金)~9日(月)<2泊3日の合宿>
- ・会場/ L stay&grow 南砂町(東京都江東区)
- ・募集対象者/教育現場を持っている、高校又は短期大学・大学等の教職員40名程度
*ファシリテーターを1名増員し、受講者を若干名増員する
- ・募集方法/3月下旬より電通育英会ホームページにて募集を開始予定(事前課題有)。応募締切は4月下旬を予定。選考は講師およびファシリテーター。
- ・参加費/ 無料(ワークショップ・宿泊・食事・懇親会に関わる費用)
※交通費、会場でのOA備品等のレンタル等、個人に関わるものは自己負担
- ・監修・講師/溝上慎一(桐蔭学園 理事長/桐蔭横浜大学 教授)、
中原 淳(立教大学 経営学部 教授)
- ・ファシリテーター/武田 佳子(桐蔭横浜大学 教授)、畑野 快(大阪公立大学 准教授)他5名
※50名程度のアルムナイ参加者を募り8月8日(土)にアルムナイ・セッションを行い、翌9日(日)は第8期リーダー育英塾へ合流する。

★リーダー育英塾関連費

2025年度予算	2025年度実績見込	2026年度予算
985万円	921万円	898万円

<2026年度予算増減要因>:外部講師を招聘しないことによる削減他。

5. 学生を対象とする次世代リーダーの育成活動に対する資金助成<公益事業2>

2026年度は18団体を採択した。各助成団体に対して、年3回の面談を実施して活動助成を行う。また、助成団体同士の交流を通じた学びの場としての交流会をリアルで開催する予定。団体については「報告2」参照のこと。

★人材育成活動助成事業関連費

2025年度予算	2025年度実績見込	2026年度予算
2,450万円	2,233万円	1,962万円

<2026年度減額要因>:助成団体数、助成金総額の削減による。交流会運営費、全国からの参加団体交通費もこれにより減額。

2026年度主要行事 年間予定表

	日 程	場 所
2026年		
新奨学生オリエンテーション	5月14日(木)、15日(金)	オンライン開催
第33回資産運用委員会	5月22日(金)	時事通信ビル11階会議室
2026年度大学院奨学生面接選考	5月下旬	オンラインで実施
大学3年生セミナー	5月30日(土)、31日(日)	L stay&grow 南砂町
第54回理事会	6月4日(木)11:00～	帝国ホテル 扇の間
大学2年生セミナー	6月20日(土)～21日(日)	L stay&grow 南砂町
第16回定時評議員会	6月22日(月)11:00～	帝国ホテル 扇の間
第55回理事会(臨時)	6月22日(月)15:00～	帝国ホテル 扇の間
大学奨学生選考委員会	7月末	時事通信ビル11階会議室
第8期「リーダー育英塾」	8月7日(金)～9日(日)	L stay&grow 南砂町
大学奨学生面接選考(関西)	8月14日(金)・15日(土)	ホテルグランヴィア大阪
大学奨学生面接選考(東京)	8月中旬～下旬	時事通信ビル11階会議室
大学1年生セミナー	9月5日(土)～7日(月)	L stay&grow 南砂町
第34回資産運用委員会	10月中旬	時事通信ビル11階会議室
大学院生セミナー	10月24日(土)～25日(月)	L stay&grow 南砂町
奨学生の集い2026	11月15日(日)11:00～	東京ドームホテル
第56回理事会	11月19日(木)11:00～	未定
助成団体交流会	11月28日(土)	歌舞伎座タワー
2027年		
助成団体選考委員会	2月上旬	時事通信ビル11階会議室
修了生交流会2027	3月中旬	帝国ホテル(予定)
第57回理事会	3月中旬	帝国ホテル(予定)

以上

資金調達及び設備投資の見込みについて

(2026年4月1日から2027年3月31日まで)

(1) 資金調達の見込みについて

当期中における借入れの予定はありません。

(2) 設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む)の予定は、以下のとおりです。

事業番号	設備投資の内容	支出予定額	資金調達方法
公1	奨学金管理システムリニューアル	11,000,000円	自己資金

以上